

#3 復活し、昇天した、

すべてを含むキリストの証し人となる

(国際長老責任者訓練) 2018/11/26-12/2

I. 使徒行伝において、使徒たちと弟子たちは、キリストの証し人でした:

使徒1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨む時、あなたがたは力を受ける。そして…地の果てまでも、私の証し人となる。

A. 使徒行伝の啓示によれば、主によって復活させられ遣わされている者はみな、主の証し人です。

使徒26:16 私があなたに現れたのは、私を見た事と、私があなたに現そうとしている事について、あなたを奉仕者、証し人として定めるためである。

B. 新約では、「証し人」の意味はおもに、十字架につけられ、復活し、昇天したイエス・キリストの生ける証しを担うことです。

C. 証しすることは、主や霊的な事物に関して、見て享受するという経験が必要になります。それは、単に教えることとは異なります。

D. 主はパウロを、奉仕者また証し人として定めました:

① 奉仕者は務めのためであり、証し人は証しのためです。

② 務めはおもに働きと関係があり、奉仕者が行なうことと関係があります。証しは人と関係があり、人が何であるかと関係があります。

③ パウロは、自分が主を見た事と、主が自分に現れようとしている事についての証し人でした。

E. 主が昇天において彼の天の務めを遂行するのは、主の復活の命の中で、主の昇天の力と権威をもって、主について証しする証し人を通してです。【月】

II. 使徒行伝において啓示されているキリストは、復活の中にいます:

使徒2:32 このイエスを、神は復活させました。私たちはみな、そのことの証し人です。

使徒4:33 使徒たちは大いなる力をもって、主イエスの復活の証しをした。…

A. キリストは死を通して、別の領域、すなわち、復活の領域の中へと入りました:

① キリストは、不朽の命を持つ、生きていますので、死は彼を捕らえておくことができません。

使徒2:24 この方を、神は死の苦痛から解放して、復活させました。イエスが死に捕らえられていることは、あり得ないからです。

② 彼はご自身を死へと引き渡しましたが、死は彼をとどめておくことができませんでした。それどころか、死は彼によって打ち破られ、彼は死から復活

しました。

B. 私たちは、キリストの復活の力、領域、要素において、キリストを知る必要があります。

C. キリストの復活は、使徒たちの証しの焦点でした:
使徒1:22 すなわちヨハネのバプテスマに始まり、主が私たちを離れて上げられた日まで、常に共にいた人たちの一人が、私たちと共にイエスの復活の証し人となるべきです。

① イエスの復活を通して、また彼の昇天において、神はご自身のしもべイエスの栄光を現しました。

② 主イエスの復活は、彼の肉体と成ること、人性、人の生活、神の定められた死を後ろに向かって指し示し、そして彼の昇天、天における務めと行政、再来を前に向かって指し示します。【火】

III. 使徒行伝において啓示されているキリストは、昇天の中にいます:

使徒2:33 彼は神の右に引き上げられ、御父から約束された聖霊を受けて、あなたがたが見聞きしているものを、注ぎ出されたのです。

A. 復活は命の事柄ですが、キリストの昇天は地位の事柄であり、そして地位は権威の事柄です。

B. 主の昇天は、天における主の生活と務めに入ることでした。このように入ることは、彼を新しい領域、すなわち、天の中へともたらししました。今や彼はそこにおいて、彼の生活を持ち、務めをしています。

C. 主の昇天は、彼を新しい段階へともたらししました。それは、復活した人が天において生きて、神の行政の中心になるという段階です:

① この復活した方は今や、天に座しており、神の行政を執行しています。

② 復活したキリストは、天へと昇り、神によって高く上げられ、王権、主権、万物の上のかしらとしての権威を与えられました。

③ 昇天したキリストはまた、御座、栄光、宇宙におけるすべての権威を獲得しました。

D. 昇天したキリストは、万物の主であり、万物を所有しています:

使徒2:36 こういうわけで、イスラエルの全家は、確かに知っておきなさい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主またキリストとされたのです。

① キリストの主権は、彼が昇天において獲得したものの最も重要な面の一つです。

② キリストの主権は、彼の昇天において完全に確立されたので、彼のからだの肢体である私たちは、この天的な事実を認識する必要があります。

E. 昇天したキリストは、神の油塗られた方であり、神の使命を遂行して、福音を拡大させることと召会を建造することを成し遂げます。【水】

IV. 使徒行伝において啓示されているキリストは、すべてを含むキリストです:

使徒3:25 あなたがたは預言者たちの子孫であり、神があなたがたの父祖と立てられた契約の子孫です。神はアブラハムに、「あなたの子孫の中で、地のすべての家族は祝福される」と言われました。
26 神はご自分のしもべを興して、まずあなたがたに彼を遣わし、あなたがた一人一人をその悪い行ないから立ち返らせて、祝福してくださったのです。

A. キリストは、命の創始者です:

①「創始者」と訳されたギリシャ語によって示されているように、キリストは、命の起源または開始者です。彼は、命の創始者、元首です。

②使徒第3章で私たちは、命を他の人たちの中へと分け与えること、すなわち、キリストを増殖させることを見ます。そのような増殖のために私たちは、命の創始者、命の源としての主を必要とします。

③キリストは命の創始者として、聖で義なる方です。

B. キリストは、神のしもべです:

①イエスの復活と昇天を通して、神はご自身のしもべイエスの栄光を現しました。

②アブラハムの子孫また神のしもべとしてのキリストの中で、地のすべての家族(すべての種族、皮膚の色の人、国籍の人)は祝福されます。

③神は、ペンテコステの日にその霊を注ぎ出すことによって、昇天のキリストを祝福として再び遣わしました。このゆえに、神が注ぎ出したその霊は、神が復活させて天へと引き上げたキリストでした。【木】

C. キリストは、元首また救い主です:

①神は、人イエスを高く上げて、最高の元首、君主、世界を支配する諸王の支配者、神の選ばれた人々を救う救い主としました。

②「元首」は彼の権威と関係があり、「救い主」は彼の救いと関係があります。彼は彼の権威を用いて、主権をもって地を支配します。そして神の選ばれた人々が彼の救いを受け入れるために、環境を適合させます。

D. キリストは、人の子です:

使徒7:56 彼は言った、「見よ、天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」。

①使徒第7章56節が啓示しているのは、キリストが人の子であって、神の右に立っており、彼のために殉教する者たちを慰め、励まし、力づけているということです。

②ステパノは、昇天のキリストが人の子であることを見ました。これが示している事は、天におられるキリストが依然として彼の人性を持っているということです。彼は依然として彼の人の性質を所有しています。

E. キリストは、神です:

使徒20:28 あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された神の召会を牧養させるのです。

①キリストは私たちの神として、召会を買い取った方であり、ご自身の血をもって召会を獲得しました。

②神は、「ご自身の血」、すなわち、「御子イエスの血」をもって、召会を得、買い取り、贖いました。

③キリストは十字架上で、神・人として死なれました。彼が私たちの贖いのためにそこで流された血は、人イエスの血であっただけでなく、神・人の血でもありました。

④神が召会を獲得した血は、神ご自身の血です。

【金】

F. キリストは、万民の主です:

使徒10:36 神はイエス・キリスト(この方は万民の主)を通して、平和の福音を宣べ伝え、イスラエルの子たちに御言を送られました。

①使徒第10章36節の「万民」は、すべての人を指しています。

②昇天のキリストは、地上におけるすべての異なる種族や人々の主です。彼は人を偏り見ません。

G. キリストは、裁き主です:

使徒10:42 そしてイエスは、ご自分が生きている者と死んだ者の裁き主として神によって定められた方であることを、私たちが民に宣言し、厳かに証しするようにと、私たちに命じられました。

①キリストは、生きている者と死んだ者の裁き主として、神によって定められました。

②キリストは、世界を裁く人であり、神によって義の中で定められており、神は彼を死人の中から復活させることによって人に確証を与えました。

使徒17:30 そこで、神は無知な時代を見ごしておられましたが、今やすべての人に、至る所で、悔い改めるべきことを命じておられます。

31 なぜなら、神はご自分が定めた人によって、義の中で人の住む地を裁こうとする日を定められたのであり、その方を死人の中から復活させることによって、すべての人に確証を与えられたからです」。

H. キリストは、主イエスであり、信者たちの信仰の対象です:

①福音を信じることは、おもにイエス・キリストを信じることです。

②主イエスを信じることは、キリストのパーソンと、彼が達成したすべてとを拠り所とすることです。この両方が、神の新約エコノミーの信仰を構成します。

1テモテ1:4 作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい。そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミーではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。【土】

経験①:キリストは復活の中で命を与える霊となられ、目に見えないかたちでいつもあなたの中におられる

使徒 2:24 この方を、神は死の苦痛から解き放って、復活させました。イエスが死に捕らえられていることは、あり得ないからです。

キリストは今や復活における私たちの救い主であり、その霊は復活におけるキリストです。キリストは復活した後、完全に復活の中にあるパースンとなられました。今日、あるクリスチャンはキリストの肉体と成ること、十字架においてキリストを知っています。しかし、私たちはパウロのように、キリストの死においてキリストを知るだけでなく、さらにキリストの復活において、キリストを知ることが切望すべきです。私たちはキリストの復活の力、領域、要素において、キリストを知る必要があります。

使徒行伝第 1 章で、ペテロは続けて言いました、「こういうわけで、主イエスが私たちの間で出入りしていたすべての時、すなわちヨハネのバプテスマに始まり、主が私たちを離れて上げられた日まで、常に共にいた人たちの一人が、私たちと共にイエスの復活の証し人となるべきです」。主の復活は、使徒たちの証しの焦点です。それは、彼の肉体と成ること、人性、地上での人の生活、神の定められた死を後ろに向かって指し示し、そして彼の昇天、天における務めと行政、再来を前に向かって指し示します。こうして、イエス・キリスト、万民の主についての使徒たちの証しは、使徒行伝全体に記述されているように、すべてを含みます。彼らは、全聖書に啓示されているように、すべてを含むキリストを宣べ伝え、供給しました。

新人編

OL:キリストは死を通して、別の領域、すなわち、復活の領域の中へと入りました。

キリストは受肉において、肉体となられました。そして復活において、キリストは命を与える霊となられました。主が復活した後、主の見えない臨在を弟子たちに理解させ経験させるために、主は四十日間、彼らを訓練されました。

使徒 1:3 イエスは苦難を受けた後、ご自分が生きておられることを、多くの確かな証拠によって彼らに示し、四十日にわたって現れ、神の王国についての事柄を語られた。

FN「ご自分が生きておられる」:これは、弟子たちが訓練されて、主の見えない臨在に慣れ、それを享受するためでした。

FN「現れ」:復活したキリストは、弟子たちの中に住まわれました。なぜなら復活の日、彼はご自身をその霊として、弟子たちの中に吹き込まれたからです。彼の現れは、彼が弟子たちから去られたことを意味するものではありません。それは単に、キリストの臨在を見えるように現れ、彼の見えない臨在を彼らがいつでも実感し享受するようにと、彼らを訓練しておられたことを意味します。

新人の皆さんは、新約の祝福のすべてが復活の中にあることを理解してください。キリストは復活の前、目に見えるかたちで弟子たちと共におられましたが、復活の後、目に見えない命を与える霊となられ、彼らの中に入ってきました。実は、命を与える霊の臨在は、肉体の臨在よりもっと近いのです。それは、「人々の間」の臨在から、「人々の中」の臨在に進展してい

ます。しかし、この更に進んだ臨在は目に見えないので、あなたにとって分かりにくいものかもしれません。あなたが主の中で祝福されるために、この分かりにくい臨在を理解し、経験することは極めて重要です。

祈り:「おお主イエスよ、あなたは、復活の中で命を与える霊となられ、一日24時間、永遠に私の中に住んでおられます。この見えない臨在について、私が経験できるように私を助けてください。そうすることで、私は勉強のときも、クラブ活動のときも、就職活動のときも、また、就寝中ですら、あなたを主観的に経験することができます」。

経験②:キリストの昇天の地位を正しく認識し、聖徒たちと共に大胆にサタンに立ち向かい、勝利を得る

復活したキリストが命を与える霊を、命、命の供給、内なる人に関するすべてとして弟子たちの中へと息吹き込んだ後、彼らはみな神・人、神とミングリングされた人となりました。彼らは本質的に神聖な命で満たされましたが、まだ神のエコノミーを遂行するように資格づけられていませんでした。ですから、復活したキリストは、天へと昇り、神によって高く上げられ、王権、主権、万物の上のかしらとしての権威を与えられました。彼はまた、御座、栄光、宇宙におけるすべての権威を獲得されました。百二十人が十日間地上で祈っていた時、神は高く上げられたキリストを、王、主、万物のかしらにしつつありました。神は権威、御座、栄光を、高く上げられた方、すなわち、昇天の中にある方としてのキリストに与えられました。

キリストの復活は、私たちを装備し、資格づけ、権威を持たせるには十分ではありません。ですから、私たちは彼の昇天も必要とします。復活は命の事柄ですが、キリストの昇天は地位の事柄であり、そして地位は権威の事柄です。…私たちは自分の地位を大統領の地位にたとえることができます。アメリカ合衆国では、大統領は就任しなければなりません。彼は職務に就くとき、ある地位につけられ、それが彼に権威を与え、装備し、資格づけて、彼に大統領として行動させ、大統領の地位の力を行使させます。

在職青年/大学院生編

OL:復活は命の事柄ですが、キリストの昇天は地位の事柄であり、そして地位は権威の事柄です。

キリストは、昇天の前に主でしたが、昇天において正式に万物の主として就任されました。例えば、アメリカの大統領は、選挙に勝って、大統領になるように選ばれていても、正式に就任式を経なければ、大統領の地位に就くことはできません。大統領の地位は、大統領の権威と権限を伴います。この地位の問題は、会社組織や大学院にも存在します。会社ではマネージャーがおり、その上にディレクターがおり、その上に役員の人たちがおり、トップに社長がいます。それぞれの地位にそれぞれの権限があります。神は秩序の神なので、あなたは地位についてもよく理解し、自分が持っていない権限について勝手に実行したりしないように気を付ける必要があります。また、権限を持っている人と相談する必要があります。この理解は、昇天におけるキリストの権威を理解することを助けます。

例えば、あなたは福音をクラスメイトに宣べ伝え、そのことが原因でサタンによって攻撃され委縮しているとします。この時、あなたは昇天の主が獲得した高い地位と権威について理解しなければなりません。あなたは、霊的

パートナーや、あなたを導いている兄弟姉妹と共に、昇天の中で、権威をもって、サタンに命じるべきです。あなたは恐れおののいて、サタンが自分をいじめないように主に祈るのではありません。このような祈りの懇願は、主の地位と権威を理解していないものです。

祈り:「おお主イエスよ、私は福音を伝えたことで悪い噂を立てられて、恐れています。しかし、これは主の昇天の地位を経験する良い機会です。サタンの攻撃に恐れことなく、昇天の主が獲得した高い地位と権威をもってからだの中で祈り、サタンを縛ります。主にはその権威があり、召会にはその権威が与えられています」。

詩歌 632 霊的な戦い-立ち上がる (英 870)

1. 立て、イエスのため、主のつわもの;
主のはたかかげ、たかく上げよ。
主、たい軍ひきい、勝利から勝利へ、
てき絶やし、御名 聖とならせる。
2. 立て、イエスのため、主のラツパ聞け;
勝利の名により、戦場をはしれ。
てき、荒れくるうも、まえに向かいつ、
てきほろぶまで、雄々しく行け。
3. 立て、イエスのため、主に信頼して、
自己とけっ気を 武器としない。
霊の武具を着け、絶えずいのりつ、
れいにしたが、すすみすすめ。
4. 立て、イエスのため、勝利はちかい;
きょうはたたかい、明日はがい歌。
勝利を得たもの、かんむりを受けて、
ともに王となり、とわに支配す。

**経験③: 命の成長の学課と勤勉な奉仕の学課を学び、
裁き主の御前で合格し、勝利者となる**

使徒 10:42 イエスは、ご自分が生きている者と死んだ者の裁き主として神によって定められた方であることを、私たちが民に宣言し、厳かに証しするようと、私たちに命じられました。

FN「裁き主」: 復活したキリストは、千年期の前に戻って来られる時、栄光の御座で、生きている者を裁かれます。これは、彼の再来と関係があります。彼は千年期の後、大いなる白い御座で、死んだ者を裁かれます。それは、汚れた旧創造の最終的な一掃となるでしょう。

ここで、私たちはキリストが全人類の裁き主として定められたことを見ます。…復活したキリストは再臨の時、千年期の前に、栄光の御座で生きている者の裁き主となります。彼はまた千年期の後、大いなる白い御座で死んだ者の裁き主となります。ですから、主はすべての人に対して、生きている者と死んだ者に対して神の裁きを執行されます。

生きている者と死んだ者の裁き主であるキリストは、贖い主として経験され享受されることができます。私たちは彼の中へと信じて罪の赦しを受けることができます。

キリストは世界を裁く人であり、神によって義の中で定められており、神は彼を死人の中から復活させることによって人に確証を与えられました。

中高生/大学生編

I ペテロ 4:5 彼らは、生きている者と死んだ者を裁こうとしておられる方に、必ず申し開きをすることになります。

II テモテ 4:1 私は神の御前と、生きている者と死んだ者を裁かれるキリスト・イエスの御前で、彼の出現と

彼の王国によって、厳かにあなたに命じます。

2 御言を宣べ伝えなさい。 時が良くても悪くても、用意をしていなさい。辛抱強さと教えの限りを尽くして、責め、戒め、勧めなさい。

FN「彼の出現」: この言葉は、主の出現と彼の王国が、パウロの生活と働きにおける奨励と目標であったことを証明します。主の出現は、私たちを裁いて、それぞれに報いるためです。そして王国は、彼が勝利者たちと共に支配するためです。使徒は、これら二つの事柄を、自らの奨励と目標とただけではなく、これら二つの事柄によって、自分の導きの下にあったテモテに、言葉の務めを忠実に果たすよう命じました。

学生の皆さんは、高校受験や大学受験を通過して、今の学校に行っているはずですが。その学校に入るために、入学試験に合格しなければなりません。同様に、あなたが勝利者になるために、二つの学課が主によって与えられています。一つは命の成長の学課であり、もう一つは福音を宣べ伝えて、召会建造の材料を獲得し、他の兄弟姉妹と組み合わせられて、キリストのからだを建造する奉仕に関する学課です。あなたがたはみな主が来られた時に、この二つの学課について申し開きをしなければなりません。

i) 命の成長の学課: あなたが命を成長させるために日常生活で、特に勉学においてキリストを主観的に経験してください。例えば、あなたがもうこれ以上できないと感じたり、自分には続ける能力がないと感じたりするとき、主を経験して、自分の天然の殻から出て来ることを学んでください。

ii) 勤勉な奉仕の学課: パウロは II テモテ 4 章 1 節で、キリスト・イエスの裁きについて述べた後、2 節で御言葉を伝えなさいと言っています。あなたは福音を伝える生活をしなければなりません。路上で神の御言葉を宣べ伝え、家庭集会で神の言葉を語り、ドリッパ・イリゲーションで神の言葉を励ましのために供給し、主日集会で神の言葉を語ります。あなたは、時が良くても悪くても、御言葉を語る用意をし、語り続けるべきです。

祈り:「おお主イエスよ、私は自分の限界を感じるたびに、主の御名を呼び求め、主に信頼し、主の知恵と力を経験したいです。自分にできないことも、主と共に突破することができるからです。私は毎日少しずつ、命において成長します。更に、奉仕において忠実に御言葉を宣べ伝える準備をし、語る訓練をさせてください。主イエスよ、私の霊を増強し、命の成長と奉仕において証しのある学生になることができますように。アーメン！」

詩歌 662 福音を宣べ伝える-命を流し出す (英 925)

- 1 えい光のふく音は、いのちのながれ;
ひとはすくわれる、生けるあかしで。
(復) 生けるみずながし、いのちあらわし、
ひとの霊を生かす うつわとなせや。
- 2 いのちのあかしで、ひとはしんじる;
いのち、供きゆうされ、主を受け入れる。
- 3 ぶどうの木のように、主のなかに住み、
いのちをながして、主を供きゆうする。
- 4 せいかつのなかで、主を表げんする;
ことばだけでなく、いのち植え込む。